



アズマシャクナゲ

[東石楠花]

5本の樹

常緑 / 中高木 / 木本植物 / 在来種



科名 ツツジ科 (APGⅢ)

特記 生長：やや遅い

淡紅色～紫色（時折白色）の花を数個～10個ほど咲かせる。花、葉ともに枝先に集まるように密生する。華やかな花をつけるには維持管理が欠かせない。葉の表は光沢があるが裏は淡褐色の軟毛が密生する。東北や関東地方など、東国に分布することから東石楠花と呼ばれる。



葉



花



花と葉



葉の表裏

Memo

よく似たツクシシャクナゲやホンシャクナゲの花弁は7裂するのが、アズマシャクナゲは5裂する。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
🌸	花期					■							
🍒	果実	(花後にできる 蒴果(さくか)は花殻とともに除去する)											
🍂	紅葉												
🌱	施肥	■ (緩効性肥料がよい)								■			
✂️	剪定						■ (花後早めに)						
		★: 花芽分化の時期 (分化後に剪定すると花付が少なくなる)											

好みの環境					
日当たり	陽	○	○	○	陰
土壌	乾		○	○	湿
寒さ	強	○			弱
暑さ	強			○	弱
潮風	強			○	弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
	○	○					

ポイント 夏は半日陰になる環境が適している。根に直射日光が当たると高温障害を起こしやすいため、マルチング材などで覆い保護する。酸性土壌を好むので鹿沼土やピートモスで調整するとよい。

剪定 生長は比較的遅く枝先に花をつける。刈り込まずに飛び出した枝を切り戻す程度にすると花をたくさん咲かせる。今年咲かなかった枝は翌年の開花枝として残す。花後、花殻を取り除くとよい。

病虫害 ハマキムシ、グンバイムシなどツツジ科植物共通の被害を受ける。風通しが悪いとカイガラムシが発生、夏の強い日差しを受けると褐斑病など葉に病害を生じやすい。

呼べる蝶 コツバメ・ヒメシジミ